

省エネルギーの推進

エンゼルのように地球にやさしく！！

省エネルギー活動の推進により、主たる温室効果ガスであるCO₂の排出量を削減することで、地球温暖化防止に向けて着々と取り組んでいます。

地球温暖化防止活動

目標

工場からのCO₂排出量を2010年度末までに、1990年度比6%削減する。

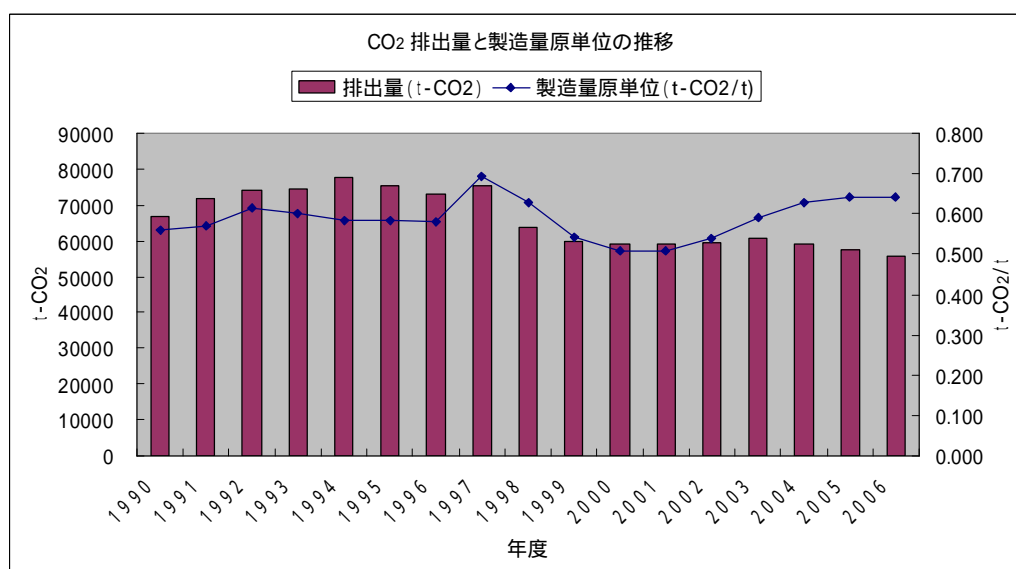
2006年度実績

地球温暖化防止に向けた京都議定書の発効により、日本は2008年から2012年の間にCO₂などの温室効果ガスの排出量を1990年比6%削減しなければなりません。

当社5工場の2006年度のCO₂排出量¹は55,729t-CO₂、製造量原単位²は0.64t-CO₂/tで、1990年度³に比べ排出量は16.7%の削減となりましたが、製造量原単位は14.8%の増加となります。

また、2005年度比では、排出量は3.1%削減、製造量原単位は0.2%の増加となります。

- 1 当社5工場の各種エネルギーの使用等ともなうCO₂排出量を合計したものです。
環境省「事業者からの温室効果ガス排出量算定方法ガイドライン(試案Ver1.4)」等により算出、比較対照しております。
- 2 製造量原単位とは製造重量あたりのCO₂排出量のことをいいます。
- 3 1990年度CO₂排出量は焼却炉を含んだ排出量です。

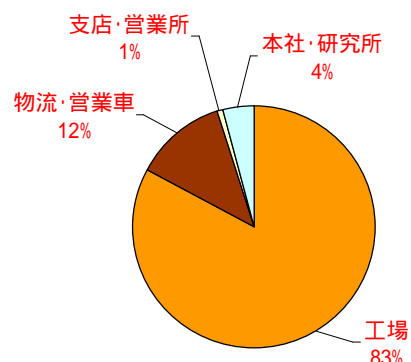


- 小山工場の使用燃料を2007年5月にLPGから都市ガスに転換しました。
これにより、関連会社含め全工場が都市ガス使用になり、今後更なるCO₂削減を推進してまいります。

全体的なCO₂排出量比率

当社では工場だけでなく本社などにおいても省エネルギー活動を実施しています。また「CO₂排出量算出要領」を作成し、本社や事業所からのCO₂排出量を把握、管理しています。2006年度は、工場からのCO₂排出量が全体の83%を占めています。

今後も削減に向けて取り組んでいきます。



省エネルギー事例

・ ソーラーパネル電源(中京工場)

冷却塔冷却水の清浄化を目的に設置されている、薬液注入装置の電源にソーラーパネルを取り入れ、省エネルギー化を推進しています。



ソーラーパネル電源(中京工場)

・ 省エネルギー型照明(鶴見工場)

従来の水銀灯を省エネルギー型照明に更新し、省エネルギー化を図っています。



省エネ型照明に更新(鶴見工場)